

チャリティゴルフ大会

■日時：平成24年11月6日(火) 午前8時40分スタート
 ■場所：センチュリー吉川ゴルフ倶楽部

当協会安全委員会の事業として恒例のチャリティゴルフ大会が、豊かな自然に囲まれた三木市で行われ、12組44名が参加しました。

チャリティの大会として開催しましたが、それぞれ、親睦を深め、楽しいひとときが生まれたゴルフ大会でした。プレイ後の懇親会では、例年の賞品に加え、会長賞は神田会長ご懇意の但馬の地酒、ご推薦の米「ユメビカ」が当たるなど、成績発表に沸きながらの楽しい集いとなりました。

チャリティは、参加者の皆さんのご厚意により、91,000円の募金をいただきました。神田会長から公益財団法人兵庫県青少年本部(会長:井戸敏三兵庫県知事)にお渡しできるよう調整中です。



優勝 橋本 昌之様

順位	氏名	トータル	HDCP	ネット
1	橋本 昌之	85	14.4	70.6
2	白井 和哉	97	26.4	70.6
3	田中 恵	97	25.2	71.8
4	小島 大介	78	6.0	72.0
5	須藤 亨	83	10.8	72.2
会長特別賞		近藤 國文		
会長特別賞		藤原 達也		

コウノトリ翔る 但馬まるごと感動市

■日時：平成24年11月17日(土)～18日(日)
 ■場所：コウノトリ但馬空港イベント広場(豊岡市岩井)

例年、会場にしていた兵庫県立但馬ドームが、昨年度の雪害で被害を受け修理中のため、但馬空港イベント広場で行われました。あいにく、イベント両日も雨模様でしたが、但馬の民俗芸能、展示物、山海の珍味など会場は熱気にあふれ、2日間で4万6千人が訪れ、協会会員も但馬牛の丸焼き販売場のボランティア参加と、賛助会員の参画も得た会場内の協会展示ブース運営にあたりました。



☆3 但馬牛の丸焼き販売場では協会会員もボランティア参加しました。

平成25年「新年交礼会」開催のご案内

井戸兵庫県知事をはじめ兵庫県幹部職員や関係友好団体のご出席をいただき、恒例の新年賀詞交換の集いを開催致します。万障お繰り合わせのうえ多数ご出席下さい。

●とき：平成25年1月18日(金) 17:00～19:00 ●ところ：ホテルオークラ神戸 平安の間

「経営開発研修会」開催のご案内

当協会経営開発委員会が企画し、入札参加資格の点数が加算できる研修会です。開催日時は2月5日(火) 13:00～16:00、内容は、第1部研修「暴力団等不当要求排除研修」、第2部「兵庫県県土整備部講師による建設業における社会保険未加入問題に関する講演」、場所は、神戸市勤労会館を予定しています。詳細はおってご案内しますので、ご参加をお願いします。

「地域懇談会」開催のご案内

隔年実施しております「地域懇談会」が開催されます。来年3月までに各地域でお集まり頂き、協会が抱えている課題などの解決に向けて、同業の者が意見交換して頂く機会がございます。それぞれの地域で日程を調整頂き開催しております。

受賞 (表彰式：平成24年11月13日(火)・於：兵庫県公館)

●平成24年度兵庫県優秀施工者賞
 株式会社本庄商会 森本 幸夫氏が受賞されました。お喜び申し上げます。

●平成24年度兵庫県さわやかな県土づくり賞
 アイオイ設備工業株式会社、建部工業株式会社が受賞されました。お喜び申し上げます。

協会事務局 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 5-8-14 山手ダイヤハイソ206号 TEL: 078-341-0991 (協会 H.P.) http://www.hyogo-kuei.or.jp/

ゆう和【会員ご報告】2012年12月 NO.008 / 発行日：平成24年12月 / 発行者：一般社団法人 兵庫県空調衛生工業協会 広報委員会 / 企画・編集：(株)プランニングオフィス・トライ

ゆう和

Air-Conditioning & Plumbing Contractors Association of Hyogo

【会員ご報告】2012年 12月 No.008



平成24年度 安全衛生大会

■日時：平成24年10月23日(火) 午後2時00分～
 ■場所：ラッセホール 5階 サンフラワー

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課長・因洋一氏、兵庫労働局労働基準部安全課長・高尾聡氏をご来賓にお迎えし、平成24年度安全衛生大会を開催。多くの会員の出席のもと、労働災害の現状・課題、リスクアセスメントについての講話をいただきました。また、第2部では山崎整氏をお迎えし、音楽を通しての関西の文化史についての特別講演に耳を傾けました。



神田会長挨拶

平成24年度も安全衛生大会標語を募集させていただきましたところ、63件の応募をいただき、それだけ会員の方々が安全に対して認識をしておられることに本当に感謝しております。これぐらい、後でよい、という日頃、何気なく使っている言葉ですが、それが大きな事故につながることを認識していただきたいと思ひます。現場での安全は、ルールを守るだけではいけません。一人一人が考え、実行していくことが安全につながります。また、受け身の安全だけでなく、行動する安全をやっていかなければ本当の安全ではないと思ひます。安全衛生大会が単なるセレモニーではなく、一人一人が安全に対する認識を高めていただき、自覚していく機会にさせていただくことが大事です。



また、近年、心のケアも大事になっています。車に馬力がない時代には御殿場の坂を登るのが技術で、下りは流れるだけ。車に馬力のある今では登りではなく下りで事故がないように、みんなに迷惑をかけないように走行するのがドライバーの技術だという話を聞いたことがあります。企業においては、100ひく1は99ではなく、0もしくはそれ以下かもしれません。一つ事故を起こせば、会社は吹っ飛んでしまうかもしれません。決して99残るわけではないことを、しっかりと認識していただきたいと思ひます。このあとの講演を聞いていただき、有意義な安全衛生大会にさせていただきたいと思ひます。

ご来賓挨拶

兵庫県県土整備部住宅建築局設備課長 因 洋一氏



兵庫県空調衛生工業協会は昭和54年に設立され、今年度から一般社団法人となられ、全会員の方々が一致団結し、管工事設備業界の健全な発展と適正な施工技術を確保するために人材育成、災害発生時の即応体制を設置され、災害時の県との応援協定の締結など社会貢献活動に取り組んでこれ、公共の福祉の増進、県民生活の向上に大きく貢献されました。神田会長はじめ、歴代の会長様、関係者の皆様のご尽力に心からの感謝を申し上げます。

さて、官民間問わず、建設工事に従事する者にとりまして、建設工事現場での事故防止は最重要課題だと深く認識しております。我々も関係団体のご協力により、交通事故防止、足場からの墜落事故防止、法面からの墜落事故防止、飛来落下事故防止、工事事故防止に関わる広報活動の推進、安全活動の評価に重点的に取り組んでおります。この安全衛生大会に見られますように、協会の会員の皆様が安全意識の高揚と安全活動を強力に推進されておりますことに敬意を表しますとともに、本団体が安全でかつ心身ともに健康で快適な職場づくりにつながることを確信しております。

第1部

安全衛生大会

兵庫労働局労働基準部安全課長 高尾 聡 氏

兵庫労働局ではリスクアセスメントが平成18年4月に法律となり、平成20年から5か年計画で県内の事業所の8割で取り入れていただこうと建設業などの指定の業種で呼びかけております。リスクアセスメント



は、作業や工事の始まる前に、使われる設備や作業ごとに危険性を評価し、その有害性や危険の重篤度、どれだけ大きな被害を受けるかという結果のひどさと可能性を組み合わせたリスクを評価し、低減対策をしていくものです。屋根の上にエアコンの室外機を付ける際にも、屋根からの転落というリスクは大きく、スレート、トタンなど屋根の状況によっては思わぬ事故になります。頻度と重篤度が非常に高いわけです。建築業の中において、墜落や転落はリスクの高い事故となります。

リスクアセスメントでは、リスクレベルを3つに分類、評価しています。その中で、重大な問題から優先度に応じて改善を図り、その結果を社内で公表し一人ひとりの認識を共通のものとしていきます。事業所によっては、リスクアセスメントの評価結果を写真や図柄で作成し、壁新聞として掲示されているところもあります。効果としては、職場の危険が浮かび上がり、一人ひとりの声を元に評価を行い、評価結果により改善が積み上げられることとなります。そのことが安全化につながっていくのだと思います。それをフローチャートとしてPDCAサイクルで、改善していくことが重要です。

建設業の事故については、平成14年から平成19年からの5年間を比較すると、死亡事故全体としては26%、休業4日以上は33%減少しているものの墜落・転落に関しては15%の減少となっています。高所での作業なので対策が難しいことが大きいと思いますが、それを防止するにはまだまだリスクアセスメントを進めていかなければいけないと言えます。さらに、建設業における崩壊・倒壊に関しても数字的には減少していません。住宅を建て替える際の解体工事における安全は非常に難しいのですが、対策を講じていかなければいけません。各事業所の安全の歴史の中で生まれた「命札(いのちふだ)」、「禁止札(きんしふだ)」の持つ役割を再確認し、引き継がれていくことも大切な取り組みです。リスクについてしっかりと考え、職場点検16項目に取り組み、安全施工サイクル活動を実施するようにしてほしいと思います。

平成24年度の「兵庫安全行政のあらまし」に重点的なことがまとめてありますが、県内建設業における労働災害死傷者数は2.2%減少し578名。死亡者は全体で37名、建設業で11名と過去最少ですが、死亡災害ゼロを目指していかなければいけません。また、平成24年度は労働災

害減少目標を達成するために、死傷者数を対前年比5%以下にすることを目標に推進しています。

さらに、今年3月には職場のパワーハラスメントを予防・解決するために、厚生労働省は「円卓会議」を設け、提言が取りまとめられました。年間の相談件数は7万件程度ありますが、そのうちの1万件程度はいじめ、嫌がらせに関する相談となっています。企業や労働組合においてはプライバシーに配慮しつつルールを決めていくことが重要なことだと思います。コミュニケーション、人格の尊重などを努力し、早期に対応し職場内で解決を図るように整備を図っていただきたいと思います。

労働局では雇用の場の確保、労働条件の確保・改善対策、安全確保対策、健康確保対策、最低賃金対策などに取り組んでいます。また、企画室を設け、各種相談を受け付けています。人間関係や過重労働などによるストレスなど職場生活におけるストレスに、メンタルヘルス対策にも取り組んでほしいと思います。

リスクアセスメントと安全性に関する点検表に基づいて、事業所の点検をしていただき、最終的には事故のない明るい職場実現に努めていただければと思います。

平成24年度安全衛生大会標語の表彰

平成24年度(一社)兵庫県空調衛生工業協会安全衛生大会標語を募集し、応募数63件から厳正なる選考を行った結果、以下の方が受賞されました。同大会にて表彰いたしました。

最優秀賞

久野水道株式会社 久野 大介 様
「これぐらい」小さな油断が事故のもと
慣れた作業に落とし穴



優秀賞

伊丹産業設備株式会社 黒田 和宏 様
安全は すべてにおいて 最優先!!



佳作

株式会社西尾設備 西尾 康宏 様
作業手順と危険予知
守ってつくる明るい職場



佳作

三神工業株式会社 清水 香織 様
あとでよい その気の緩み 命とり



第2部 特別講演「レコード王国だった関西」

(一財)神戸新聞文化財団常務理事兼事務局長 神戸新聞松方ホール館長 山崎 整氏

レコードに対する深い造詣をご披露いただきました。エジソンの発明した円筒型からベルリーナの発明した円盤型SP盤、電気録音による円盤型SP盤、円盤型LP盤、CD、ダウンロードと、レコードの変遷は、明治10年からほぼ30年周期で全盛の寿命を迎えていたそうです。また、日本のレコード産業の歴史もご紹介いただきました。明治42年の日本コロムビアの前身「日米蓄音機」に始まり、神戸元町の時枝商店による「ミカドレコード」の他、大阪のナショナル、ツバメ印、金鳥印、コッカや京都のオリエン、尼崎のハト印、三木市のニチエイなど多くのレコード会社があったことを考えても、まさに関西はレコード王国だったと言えます。



あわじメガソーラー 見学会

日 時：平成24年10月30日(火)午後2時00分～
場 所：あわじメガソーラー(淡路市生穂新島8番地)

平成24年第3回環境委員会の現地視察として、あわじメガソーラーを訪ねました。同施設は、大気環境の保全に関する普及啓発事業として兵庫県が実施している「あおぞら大賞」を平成24年6月に受賞。自然エネルギーの持つ可能性について考える良い機会となりました。

兵庫県は平成4年度に兵庫県大気環境保全連絡協議会を設立。大気環境の保全に関する思想の普及と意識の高揚を図ることにより、さわやかですがすがしい大気を保全、創造し、未来にわたって快適な県民生活を確保することを目的に、さまざまな活動や事業に取り組んできました。そんな兵庫県との連携により淡路市を主体とした共同事業として、地域グリーンニューディール基金を活用して建設された合計1000kWの太陽光発電施設が、あわじメガソーラーです。もともと、淡路島は「環境立島」というコンセプトを持ち、自然エネルギーを利用した自給自足できるエネルギーを模索していました。温暖で降水量が比較的少なく、年間約2,100時間の日照時間を持つ淡路島の環境条件を生かした太陽光発電施設や風力発電施設を設置しており、平成22年度には淡路市内小学校10ヶ所に太陽光発電施設も設置されました。

あわじメガソーラーは平成22年11月より稼働しており、淡路市役所と隣接する防災あんしんセンター、津名浄化センターの3施設を併せた約1.9haの敷地に、5,022枚の太陽電池アレイが設置されています。そこで発電した電気を各施設で自家消費に充て、余った分を電力会社に売却しています。平成23年度の実績は当初見込んでいた発電量を上回る1,323,761kWhと、淡路島でのメガソーラーの可能性が実証されました。

東日本大震災による原子力発電事故により、自然エネルギーが一層脚光を浴びている今日、さらに、今年7月からスタートした「固定価格買取制度」が相乗効果を発揮し、全国でメガソーラーの建設が計画されるようになりました。発電をする際にCO₂を出さない電源として地球温暖化抑止に有効な太陽光発電のさらなる普及は、今後、地球レベルで不可欠と言えるでしょう。また、これからの技術革新により蓄電のシステムが確立されれば、枯渇しない燃料として大きな期待が寄せられることでしょう。

〈施設概要〉

- ・設備容量：1,000kW ・事業費：4億6000万円
- ・敷地等面積：約1.9ha
- ・年間発電実績：1,323,761kWh (平成23年度全施設交流電力量)

● 淡路メガソーラー

淡路市生穂新島8番地 淡路市役所隣 TEL.0799-64-0001

● お問い合わせ先

淡路市総務部管財課 TEL.0799-64-2541 FAX.0799-64-2500
※施設の見学には事前申し込みが必要です。

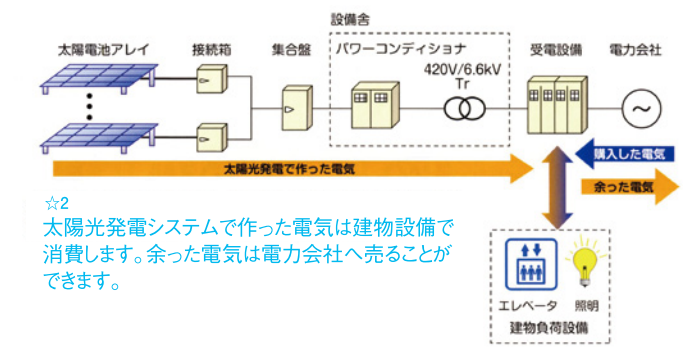


☆1 敷地を埋め尽くす5,022枚の太陽電池アレイ



敷地面積と海風の影響を考慮して太陽電池アレイの傾斜は10度に!

あわじメガソーラー-1 システム構成



☆2 太陽光発電システムで作った電気は建物設備で消費します。余った電気は電力会社へ売ることができます。



薄膜アモルファスと単結晶シリコンの長所を生かした独自構造による太陽電池

現在の発電量や発電量の記録が一目で分かるディスプレイ